

令和6年度 自己評価及び学校関係者評価書

令和 7 年 3 月 5 日

札幌市立 平和小学校

1 今年度の重点目標

「心を大切にし、意欲的に学ぶ子どもの育成」  
 - ありがとうと思いやりがあふれる平和小学校(学校像) -  
 【子どもたちの全ての子がしあわせを感じる しあわせいっぱい平和の子】(子ども像)

2 本年度の経営方針

- |                               |                          |
|-------------------------------|--------------------------|
| 1 学ぶ力の育成<知:頭の体力>              | 7 教職員の資質向上               |
| 2 豊かな心の育成<徳:心の体力>             | 8 教育環境の整備                |
| 3 すこやかな身体の育成<体:体の体力>          | 9 札幌らしい特色ある学校教育<雪・環境・読書> |
| 4 安心・安全な学校                    |                          |
| 5 家庭・PTA・地域に信頼される学校           |                          |
| 6 特別支援教育(特別な支援を必要とする子どもへの教育)⇒ | インクルーシブ教育の充実と人権教育の推進     |

3 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	分析と改善方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
調和のとれた育ち	学ぶ力の育成	A	保護者の88%から、肯定的評価(そう思う・どちらかというと思う)を受けています。児童の「楽しく勉強している」という肯定的な評価も82%となっています。児童が学習の見通しをもち、個別探求や協同探求を行い学びを振り返ることで、自分の成長を実感できるように関わっていきます。	A	A
		B	児童の肯定的評価が70%を下回る結果となっています。昨年度と比較して改善は見られますが、児童の評価の中では一番低い評価です。授業において、友達と多様な意見を練り合い、学びを広げたり深めたりするよさを実感する経験を積むことにより、児童が「考えたい」「話したい」「聞きたい」といった思いを抱けるようにしていきます。	A	A
	豊かな心の育成	A	保護者の肯定的評価が88%、児童の肯定的評価が85%と、高い数値になっていますが、児童の相手に対する言い方、言葉遣いが気になることがあるとの意見も一定数あります。引き続き、児童が「時と場面」そして、相手の気持ちを考えた温かみのある正しい言葉遣いを意識できるように関わっていきます。	A	A
		A	保護者から91%の肯定的評価を受け、児童の評価も、85%と肯定的な評価が高い結果でした。児童の中に、規範意識がしっかりと育っていることが伺えます。自分の行動が、相手にとって嬉しいことなのかどうか理解することが、「相手を気遣う優しい行動」へとつながります。道徳の学習や具体的な場面で、相手の気持ちを考える関わりを大切にしています。	A	A
	健やかな体の育成	B	保護者から83%の肯定的評価を受け、児童の評価は77%の結果でした。コロナ禍が終わり、少しずつ運動量や体を動かすことへの意識が改善されていると思われます。学校では、体育の学習での運動量を確保するために、準備運動に縄跳びを取り入れたり、自分の体力に関心をもつために、体力テストの種目にチャレンジしたりしています。単に運動の楽しさを感じるだけではなく、体づくりの一環として、食指導や保健の学習など、必要な知識を学ぶことで、「進んで運動する子」が増えていくように、引き続き取り組んでいきます。	A	A
		A	保護者の肯定的な評価は73%ですが、児童の評価では6項目の中で一番高く、肯定的な評価が90%となっています。児童が、掃除当番や給食当番、学級の係活動など、自分の担当となった係の仕事に対して、熱心に、責任をもって取り組んでいる様子がよく分かります。仕事をやり遂げたことで認められ、褒められることが、『自己肯定感』にもつながります。	A	A

<p>学校関係者評価委員会 による意見</p>	<p>もう少し学校と保護者の間で双方向でやりとりをする機会を増やした方が、より信頼関係が強まると思います。  「漢検」「数検」「英検」等、子どもが挑戦してみたいと思えるステップアップのための環境。学校経営方針にもあっているのでは。と感じました。  異学年交流である「ひまわり活動」は引き続き行ってもらいたいです。年上の立場、年下の気持ち、自分ができていることを考えられるよい活動だと感じた。  体育館の壁などに歴代の体力テストの結果を掲示してみてもどうでしょうか。子どもたちの目に入り目標がはっきりするのではと思いました。  PTA活動をもっとPRしていただきたい。学校やPTAが地域に求めていることなど。難しいことですが、コミュニティスクールの運用に向けて、一人一人に伝わるような取組を行っていただきたいと思いました。  いつもお世話になっております。今年度も校長先生、教頭先生をはじめ諸先生方には児童の件で何かとご協力いただきありがとうございました。ある事業で「平和児童会館の児童は話を聞く態度がとても素晴らしいですね。」と来館したボランティアの方々にお褒めいただいたことがありました。学校での態度が身に付いていてどこへ行っても話を聞く姿勢ができるのは、日々の先生方のご指導あつての事と思いました。遊ぶ時は思いきり遊び、静的活動時は集中して取り組むというメリハリをもった活動を児童会館事業でも引き続き行っていきたいと思います。ありがとうございました。  「自己肯定感」は今の時代、本当に大切なことだと思います。「～自分は大事にされている」と感じる。しあわせいっぱいの子」とも重要なキーワードです。これからもずっと大切にしてください。学びの振り返り、学びを深めることで定着につながると思います。集団生活だからこそ、人との関わりから生まれ育つ思いやり、まねをして刺激を受け、いろいろなことへのチャレンジにつなげてほしいと思います。  ぜひ来年も幼少交流で異年齢交流の機会をもつと共に、幼小の連携を深めていければと思います。</p>				
<p>保護者・地域との連携</p>	<p>信頼される学校の創造</p>	<p>A</p>	<p>どちらも90%を超える保護者から、肯定的評価を付けていただきました。  今後も保護者・地域の皆様一人一人のご意見に丁寧に対応し、更に信頼を寄せていただけるよう努めてまいります。</p>	<p>A</p>	<p>A</p>
<p>学校関係者評価委員会 による意見</p>	<p>児童会館でも担任の先生が一生懸命親身になって相談等に対して応じてくださっているという声を保護者よりいただいております。また、保護者より児童会館で受けた事を担任の先生に相談させていただいた際には児童会館まで足をお運びいただき直接お話をさせていただいたこともありました。平和小学校の先生方の「一人一人を大切にしてくださる気持ち」が保護者や地域の方に伝わっていると感じます。  平和の保護者の方はとても温かいと思います。これからも信頼関係を大切に幼稚園も地域の一つですので連携させてください。</p>				